

東北

「生産者お薦め品」配達好調

岩手県の豊かな食材を直接消費者に届ける、注文の多い食材店(盛岡市)の事業が好調だ。生産者が送る食材を決める珍しい方式で、受け取る会員は首都圏だけでなく中国・四国地方まで広がり、開始から半年で80人に増えた。インターネットでの通販にも乗り出した。生産者からの新たな提案が消費者に受け入れられつつある。

同社は2016年10月の設立。「岩手の食材は高品質なのに首都圏などでの評価が低い」と感じ、一般社団法人アグリフードヒルズ協会(同)理事長で同社取締役の重石桂司さんが発起人だ。消費者が欲しいものではなく、生産者が食べてほしいものを直接届ける事業



月1回届けられる定期便の食材は生産者が内容を定める

盛岡、注文の多い食材店

重石桂司さんが発起人だ。消費者が欲しいものではなく、生産者が食べてほしいものを直接届ける事業

形が不ぞろいなどで、おしきは変わらないのに価格が安くなってしまう野菜も活用していく。集荷と配達には日本郵便が担い、朝とつた食材が翌日には各家庭に届く。会員は月額四千数百円の会費(配送料込み)で月1回、4人家族で1週間ほどの分量を受け取ることが出来る。注文の多い食材店は出荷に当たり、生産者から手数料を受け取らない。同社の社名は、宮沢賢治の小説「注文の多い料理店」から名付けた。重石さんは「小説は料理をリ、洋ナシなどを送る側が客に注文を付けた。社名には生産者が消費者と対等に発言する」と思いを込めた」と話

種類・価格・出荷日 自ら設定

会員 中四国まで拡大

岩手県は岩手県が九州各国と同じ北緯40度に位置し、自然環境が似ていることに着目。「岩手は日本のヨーロッパ」をキャッチフレーズに事業を始めた。冷涼な気候のため害虫が少なく農薬の使用を抑えられ、広葉樹菜や果物、海産物などを届けてきた。9月は岩手県宮古市に水揚げされた海産物からホタテやマグロなどを詰め合わせた。定期便には出荷する自産地の様子を知ってもらいたいと、市場での競り文を添えている。会員の(盛岡支局長 富田龍一)

支局

盛秋青仙

岡田森台
0000
1112
9872
6872
2222
2322
3525
0234
1341
2333

郡福山

山島形
0022
2243
4462
9522
3331
8142
7407
7582